

令和 8 年 新年賀詞交歓会開催報告



令和 8 年 1 月 20 日 (火) 17 時から、ホテルグランドアーク半蔵門「富士の間」において、国会議員、国土交通省、士業団体他友好団体等からの多数の来賓の方々をお迎えして、新年賀詞交歓会を開催いたしました。

吉村真行会長から主催者を代表して挨拶が行われ、金子恭之国土交通大臣恭之及び上野賢一郎厚生労働大臣からご祝辞を賜りました。また、有村治子自民党総務会長等、出席議員の紹介並びにご挨拶に引き続き、松枝憲司日本中小企業診断士協会連合会会长（ご発声により乾杯が行われ、なごやかな歓談のうち、盛会裡に賀詞交歓会を終えることができました。

吉村会長は、挨拶の中で「昨年 10 月に当会は設立 60 周年を迎えたが、社会のニーズは複雑化・高度化し、高い実務能力と広い知見を備えた専門家がこれまで以上に必要とされる時代が到来しており、私達不動産鑑定士はその役割を果たしていくかなければなりません。

「業務拡充」「人材育成」「地位向上」の 3 つの方針のもと、「具体的な形とすること」「新たな道を拓くこと」を心掛け、一つひとつ着実に取り組んで参りました。

また、不動産鑑定士の最大の強みである Appraisal（鑑定評価）に、Analysis（分析）、Advisory（助言・提案）を加えた「3A」は業界の将来ビジョンとして平成 23 年に提言させていただきましたが、今現在も不動産鑑定士のあるべき姿であると確信しております、鑑定 Appraisal に時代のニーズである助言 Advisory を組み合わせた「A+A」を世に認知いただけるよう努めて参ります。



主催者挨拶（吉村 真行 会長）



来賓祝辞（金子 恭之 国土交通大臣）

そして、処遇改善と将来の担い手確保に向け、地価公示をはじめ都道府県地価調査、相続税路線価評価、固定資産税評価、公共用地取得（用対連）の鑑定等の報酬単価の引上げによる適正報酬の確保を図り、良い仕事ができる環境整備を進めて参りたいと考えております。

大災害現場では、平成28年熊本地震での南阿蘇村支援から10年、全国の不動産鑑定士が力を合わせ、毎年のように頻発する自然災害にオールジャパンで対応して参りました。令和6年能登半島地震では延べ1,564名の不動産鑑定士が珠洲市をはじめ6市町で住家被害認定調査等の支援活動を実施。奥能登豪雨、令和7年8月豪雨、台風22号・23号、令和7年11月熊本地震でも大変なご尽力をいただき本当に有難うございます。令和6年12月26日に内閣府と住家被害認定調査に係る自治体支援のための連携協定を締結しておりますので、今後も一層、被災地・被災者支援活動に取り組んで参りたいと考えております。

私達は不動産鑑定士の役割、使命をしっかりとと考え、「不動産の価値判断ができる専門家・実務家」として、そして「有事の時こそ役に立つ専門家」として、国民目線を持って全力で取り組まなければならぬと考えております。

これまで以上に社会的使命を果たせるよう会務に尽力して参る所存ですので、今年も引き続き皆様のご理解・ご支援をお願い申し上げます」と述べました。



乾杯（松枝日本中小企業診断士協会連合会 会長）



中締め（伊藤裕幸副会長）



来賓祝辞（上野 賢一郎 厚生労働大臣）



国会議員挨拶（有村 治子 自民党総務会長）



国会議員挨拶（山下 貴司 衆議院議員）



国会議員挨拶（船橋 利実 参議院議員）